

2020年度 入学試験問題

日本史 世界史 政治・経済 数学

日本史	1～13ページ
世界史	15～26ページ
政治・経済	27～39ページ
数学	41～42ページ

注意

- (1) 日本史、世界史、政治・経済、数学から1科目を選択し解答すること。
- (2) 解答用紙は各科目別になっている。
選択しない科目の解答用紙は、試験開始30分後に回収する。
なお、回収後は科目の変更はできない。
- (3) 解答用紙には受験番号の記入欄がそれぞれ次のようにある。
日本史……………3か所
世界史……………3か所
政治・経済………3か所
数学……………表面に2か所、裏面に1か所、計3か所
各箇所とも正確、明瞭に記入すること。
- (4) 解答用紙には氏名の記入欄が1か所ある。正確、明瞭に記入すること。
- (5) 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。
- (6) 問題紙の余白は計算に使用してもよい。
- (7) 問題紙を解体して使用してはならない。
- (8) 試験開始後、問題紙に落丁・損傷がないか確認すること。
- (9) 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。

(記号 104)

(科目名 世界史)

[I] P.19 上から7行目

体系化された

→

[正]

影響力を持った

(記号 104)

(科目名 世界史)

[II] P.21 下から3行目

① 17世紀のはじめにオランダ、次いで

→

[正]

② その後オランダ、また

(記号 104)

(科目名 政治・経済)

[III] P.37 上から12行目

また、2013年に

[誤]

→

[正]

また、2012年に

世 界 史

〔 I 〕 次の文章を読み、設問 1～7 に答えなさい。 (50点)

前2600年ごろ、南アジアではインダス川流域を中心にいくつかの都市が建設された。モヘンジョ＝ダーロ (モエンジョ＝ダーロ)、(a)、ドラー＝ヴィラーなどが代表的な都市であり、ここで起こった文明はインダス文明と呼ばれている。この文明の遺跡からは、土器、銅器、青銅器、また滑石に文字を刻んだ印章が多く出土している。

前1500年ごろから数回にわたり、中央アジア方面から (b) 語系の牧畜民であるアーリヤ人がカイバル峠を越えて南アジアに侵入してきた。彼らは、もともと牧畜を生業としていたが、前1000年ごろには、より肥沃な 川流域へ移動し、森林を焼き払い、稲作を開始して、農耕生活を営むようになった。彼らは、火や水そして雷などの自然神を崇拜し、祭壇を設けてこれらの神々に豊穡や長命などを祈り、さまざまな祭式がとりおこなわれた。祭式を司ったのはバラモンと呼ばれる人々であり、彼らによって神々への讃歌や祭式を記した文献が編さんされた。

アーリヤ人は、農耕に従事する先住民とまじわり、定住農耕社会を形成した。農耕に従事し生産に余裕が生じたことから、生産に従事しない階層が生まれ、強い権力をもった王が人々を支配するようになった。そして、その過程で身分的上下観念であるヴァルナ制が確立された。ヴァルナ制はのちのカースト (ジャーティ) 制度の基盤となった。

前7、6世紀ごろには、 川流域では稲作農業や手工業が発展し、商業活動が活発に行われた。 川中流域を中心に城壁で囲まれたいくつかの都市が誕生し、それらの都市はそれぞれが独立した政治単位となって互いに争った。その中からコーサラ国や (c) 国が勢力をのびた。こうした社会的・経済的状況を背景に、インド世界を代表する新しい哲学・思想が生み出された。その一つが内面の思索を重視したウパニシャッド哲学である。また、ガウタマ

シッダールタは（ d ）を創始した。ガウタマ＝シッダールタは輪廻転生の続く人生を苦ととらえ、苦の原因から離脱する正しい認識と正しい実践の方法を説き、正しい道を行えば人は平等に苦から救われると説いた。一方、ヴァルダマナは、禁欲的な苦行と徹底した不殺生により、解脱を得るとする教えを広めた。これらの新しい教えは、保守的な支配者層に不満をもつ王族や商人に多くの信者を得て広まっていった。

前4世紀の終わりごろに、インド最初の統一王朝のマウリヤ朝が誕生し、急速に北インド全域を支配下に入れた。王朝は、第3代（ e ）王のときに最盛期を迎えた。彼は、征服活動で多くの犠牲者を出したことを悔い、次第に（ d ）に帰依するようになり、武力に訴える征服活動を放棄し、社会倫理・社会道德である による統治と平穏な社会を目指し勅令を刻ませた。

その後、4世紀に入ると、グプタ朝(お)がおこり北インドの大部分を統一した。この時代には、影響力を失いかけていたバラモンが再び重んじられるようになり、民間の信仰や慣習を吸収して形成されたヒンドゥー教が徐々に社会に定着した。ヒンドゥー教は、多くの神々を信仰する多神教であり、現在にいたるインド世界の独自性をつくりあげる一つの土台となった。

設問1 文中の（ a ）～（ e ）に入る最も適切な語句を次の語群から一つ選び、番号を解答欄I-Aに記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|-------------|-----------------|-------------|
| 1. アウラングゼーブ | 2. アクバル | 3. アショーカ |
| 4. アテネ | 5. アナトリア | 6. アフロ＝アジア |
| 7. イスラーム教 | 8. インド＝ヨーロッパ | 9. ヴィジャヤナガル |
| 10. カニシカ | 11. コンスタンティノーブル | |
| 12. シク教 | 13. シナ＝チベット | 14. ゴロアスター教 |
| 15. ドラヴィダ | 16. ナーナク | 17. バーブ教 |
| 18. ハラッパー | 19. ハルシャ | 20. 仏教 |
| 21. マガダ | 22. マラーター | 23. ムガル |
| 24. モンゴル | | |

設問 2 下線部(あ)に関する以下の(a)~(d)の文のなかに正しいものが2つある。正しい文の組み合わせとなっているものを下記の【選択肢】 1~6 から一つ選び、解答欄 I - A に記入しなさい。

(a) セイロン (1972年にスリランカに改称) は、1948年にイギリスから独立した。

(b) ヒन्दゥー教徒とイスラーム教徒の融和を主張してきたガンディーは、1948年に急進的なイスラーム教徒によって暗殺された。

(c) インドとパキスタンは、1947年にヒन्दゥー教徒が多数を占めるインドと、イスラーム教徒が多数を占めるパキスタンに分かれて、イギリスから独立した。

(d) 全インド=ムスリム連盟のジンナーは、統一インドを主張していた。

【選択肢】

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. (a)と(b) | 2. (a)と(c) | 3. (a)と(d) |
| 4. (b)と(c) | 5. (b)と(d) | 6. (c)と(d) |

設問 3 下線部(い)に関連して、この文明の特徴として間違っているものを、以下の1~4から一つ選び、番号を解答欄 I - A に記入しなさい。

1. 遺跡からは、動物が刻まれた印章が多く発見されている。
2. この文明が衰退した原因は解明されていないが、河川流路の変更、気象の変化や塩害などの影響によるものと考えられている。
3. インダス文字が使われていたが、現在ではその文字の意味がほとんど解読されている。
4. ペルシア湾などを經由して、メソポタミアと盛んに交易を行っていた。

設問 4 下線部(う)に関する以下の(a)~(d)の文のなかに正しいものが2つある。正しい文の組み合わせとなっているものを下記の【選択肢】 1~6 から一つ選び、番号を解答欄 I - A に記入しなさい。

- (a) ヴァルナ制では、人はバラモン、クシャトリヤ、ヴァイシャ、シュードラという四つの種姓にわかれていた。
- (b) ヴァルナ制は、バラモンとシュードラが高い権威をもって作り上げた浄・不浄観にもとづく身分制度である。
- (c) クシャトリヤは王侯、貴族、武士などの階層をさし、ヴァイシャは先住民、隷属民などの階層をさす。
- (d) ヴェーダを中心とし、バラモンたちが祭式をつかさどる宗教をバラモン教という。

【選択肢】

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. (a)と(b) | 2. (a)と(c) | 3. (a)と(d) |
| 4. (b)と(c) | 5. (b)と(d) | 6. (c)と(d) |

設問 5 下線部(え)に関連して、以下の文中の (ア) ~ (ウ) に入る組み合わせとして正しいものを下記の【選択肢】 1~6 から一つ選び、番号を解答欄 I - A に記入しなさい。

ウパニシャッド哲学では、生命は死と再生を永遠に繰り返し（輪廻転生）、来世は現世の行い（ア）により決定されると考えられ、宇宙の根本原理（イ）と個人の根源（ウ）は究極において同一であると悟ることで、輪廻から解脱することができると説かれている。

【選択肢】

- 1. ア = 梵（ブラフマン） イ = 我（アートマン） ウ = 業（カルマ）
- 2. ア = 梵（ブラフマン） イ = 業（カルマ） ウ = 我（アートマン）
- 3. ア = 我（アートマン） イ = 梵（ブラフマン） ウ = 業（カルマ）
- 4. ア = 我（アートマン） イ = 業（カルマ） ウ = 梵（ブラフマン）
- 5. ア = 業（カルマ） イ = 梵（ブラフマン） ウ = 我（アートマン）
- 6. ア = 業（カルマ） イ = 我（アートマン） ウ = 梵（ブラフマン）

設問6 下線部(お)に関連して、この時期の特徴として間違っているものを、以下の1～4から一つ選び、番号を解答欄I-Aに記入しなさい。

1. 東晋の法顕は、仏典を求めてグプタ朝の最盛期にインドを訪れた。
2. 天文学や医学などの諸学問が発展し、数学では数字の表記法やゼロの概念がうみだされた。
3. 『マヌ法典』は、ヴァルナごとに人々の生活規範を定めたもので、この時期に体系化された。
4. カーリダーサにより、戯曲『マハーバータ』が作られた。

設問7 以下のそれぞれの問いに対する答えを解答欄I-Bに記入しなさい。

- (1)

i

 に入る言葉をカタカナ四文字で書きなさい。
- (2)

ii

 に入る言葉をカタカナ三文字で書きなさい。
- (3) 波線部Aについて。バラモンが記した聖典の中でも南アジア最古とされる文献を何というか。
- (4) 波線部Bについて。ガウタマ=シッダールタの尊称は何というか。カタカナ三文字で書きなさい。
- (5) 波線部Cについて。ヴァルダマーナ（マハーヴィーラ、ジナ）が教えを広めた宗教を何というか。
- (6) 波線部Dについて。インド最初の統一王朝マウリヤ朝を創始した王の名前を書きなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み，設問1～3に答えなさい。

(50点)

16世紀から18世紀にかけての近世ヨーロッパでは，ルネサンス・宗教改革・大航海時代を経て，政治・経済・社会・宗教・文化など多くの側面で中世とは異なる要素が出現した。その過程で，カトリック教会や神聖ローマ帝国がかつて持っていた普遍的権威が揺らぎ，各国は自らの利益を求めて戦争と妥協を繰り返しながら独立性を強めていった。

地中海地方では，十字軍の物資輸送を担当したイタリア商人が，(a)の改良や新型の帆船の普及，天文学や地理学の知識の充実を背景に，航海技術の向上をとげ，地中海交易の主要勢力として成長した。その交易により，アジアの香辛料，イスラーム地域およびビザンツ帝国を介した学問的知識，そしてギリシア・ローマの古典文化の導入がイタリア都市を経済的・文化的発展へと導いた。とりわけ毛織物工業や(b)で栄えたフィレンツェでは，メディチ家などの富裕な市民が芸術家や学者を保護し，14世紀からルネサンスと呼ばれる人間の理性や感性を重視する新たな文化創造の動きが展開した。ルネサンス文化は，イタリアに次いで15世紀以降，南北ヨーロッパ商業の中継地として毛織物工業が発達したネーデルラントで展開し，さらにイギリス・フランス・スペインへと広がった。

しかし，イタリアは，1494年のフランス王の侵入を機に，神聖ローマ帝国やスペイン，ローマ教皇が利害を求めて60年以上も断続的に争うイタリア戦争の舞台となった。また，ルネサンスにおける人文主義の登場と印刷術の発達により，カトリック教会を絶対視しない批判的精神が芽生えていた。1517年にドイツのマルティン＝ルターが九十五カ条の論題を発表し，サン＝ピエトロ大聖堂の改築資金を調達するために教皇レオ10世の行った贖宥状販売を批判した。それが導火線となった宗教改革は，スイスのチューリヒで(c)，ついでジュネーヴではフランス出身の(d)によってさらに広がり，イギリスもカトリック世界から離脱した。宗教改革の進展に対して，カトリック教会は教義の明確化と内部改革を通じて体制の立て直しをはかり，教皇の認可をえたイエズス会はヨーロッパから遠く離れた世界にまで宣教活動を行い，カトリック教会の勢力回復に貢献した。

ヨーロッパの人々は，13世紀にマルコ・ポーロがアジアでの経験や伝聞を記し

た『世界の記述』(『東方見聞録』)などによって、豊かなアジアの富や文化への想像力をかきたてられてきた。遠くアジアやアメリカ大陸への遠洋航海に乗り出し、ヨーロッパ世界の拡大を果たした大航海時代の中心となったのは、大西洋に面したポルトガル・スペインの両王国であった。両王国は、(e) 半島からイスラーム教徒を追いやって国土回復(レコンキスタ)を達成しつつあり、領土を拡張し、キリスト教を布教する意欲が強かったのである。

ヨーロッパ内部では、諸国が自国の利害を求めて戦争と妥協を繰り返していたが、1559年の(f)条約によるイタリア戦争の終結後は、フランスの(g)王家と神聖ローマ皇帝位を持つハプスブルク家との対立が国際関係の対立軸となっていた。^④ハプスブルク家は、15世紀にネーデルラントを獲得し、さらにスペイン王位も獲得した。スペイン=ハプスブルク家のカルロス1世は、1519年から神聖ローマ皇帝(カール5世)となったが、その退位後にハプスブルク家はスペイン系とオーストリア系に分かれた。スペインは、カルロスの子(h)が1580年にポルトガル王位を兼ね、ポルトガルの海外植民地も支配下におき「太陽の沈まぬ国」と呼ばれる繁栄を誇った。

スペインは、毛織物業の発達によって豊かな地域であったネーデルラントをも支配下においていたが、北部7州が(i)同盟を結成し、ネーデルラント共和国(オランダ)として独立を果たした。そのために、スペインは大きな打撃を被った。さらに、スペインの無敵艦隊(アルマダ)は、この共和国独立を支援したイギリスの海軍に敗れて制海権を失った。17世紀のはじめにオランダ、次いで(j)朝のイギリスが東インド会社を設立して東南アジアに海外進出を果たして貿易網を広げて国力を強めた。

設問1 文中の（ a ）～（ j ）に入る最も適切な語を以下の語群からひとつずつ選び、番号を解答欄Ⅱ－Aに記入しなさい。同一記号は同一語句とする。

【語群】

- | | | |
|----------------|--------------|------------|
| 1. アラビア | 2. イベリア | 3. ヴァロワ |
| 4. ウエストファリア | 5. カトー＝カンブレジ | 6. カブラル |
| 7. カペー | 8. カルヴァン | 9. 金融業 |
| 10. クリミア | 11. クロムウェル | 12. コルテス |
| 13. コルベール | 14. サヴォナローラ | 15. 測地術 |
| 16. テューダー | 17. 鉄鋼業 | 18. デロス |
| 19. 天球儀 | 20. ツヴィングリ | 21. バルカン |
| 22. ハンザ | 23. フェリペ2世 | 24. フェリペ5世 |
| 25. フェルディナント1世 | | 26. フス |
| 27. ブルボン | 28. 綿工業 | 29. ユトレヒト |
| 30. ヨーク | 31. 羅針盤 | 32. ランカスター |

設問2 下線部①～⑤に関する以下の設問について、aのみ正しい場合は数字の1を、bのみ正しい場合は数字の2を、a・bともに正しい場合は数字の3を、a・bともに正しくない場合は数字の4を解答欄Ⅱ－Bに記入しなさい。

下線部①

- a. イタリアにおける古典研究は、ビザンツ帝国の学者たちによるアラビア語の知識の導入が推進力のひとつとなった。
- b. 1453年にオスマン帝国のメフメト2世がビザンツ帝国を滅ぼした。

下線部②

- a. フランスでは、16世紀後半にカトリック（旧教）とルター派との間にユグノー戦争という内乱が勃発した。
- b. フランス国王アンリ4世が1598年にナントの王令（勅令）によって、ユグノー戦争を終結させた。

下線部③

- a. マルコ＝ポーロが滞在した元の首都は上都であった。
- b. 元のフビライは南宋を滅ぼして中国全土を支配し、チベットや西夏を属国とした。

下線部④

- a. 神聖ローマ帝国は、962年にザクセン朝のオットー1世が教皇からローマ皇帝の位を与えられたことを起源とする。
- b. ナポレオン1世が、1806年に西南ドイツ諸邦にライン同盟を結成させ神聖ローマ帝国からの離脱を宣言させたことで、神聖ローマ帝国は消滅した。

下線部⑤

- a. 海外交易が活発になったことで、ネーデルラントにおける国際金融の中心はアムステルダムからアントウェルペンに移った。
- b. イギリスの東インド会社設立時の君主は、ヴィクトリア女王である。

設問3 下線部(i)～(v)に関する以下の問いに対する答えを解答欄Ⅱ－Cに記入しなさい。

- (i) ネーデルラントで油彩の技法を改良し、フランドル画派の基礎を築いた画家は誰か。
- (ii) 1534年に国王至上法を定めて、ローマ教皇と絶縁したイギリス国王は誰か。
- (iii) 756年にイスラーム勢力がコルドバを首都とし、イベリア半島で立てた政権を何と言うか。
- (iv) 1571年にスペイン・ヴェネツィア・ローマ教皇などの連合軍がオスマン帝国を破った海戦の名は何か。
- (v) オランダ独立戦争初期の指導者で、ネーデルラント共和国（オランダ）初代総督となったのは誰か。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～3に答えなさい。

(50点)

ラテンアメリカ諸国は、19世紀初頭の独立後も（ a ）のような大土地所有制が存続し、植民地時代以来の極端な貧富の格差と社会的不平等が残存した。政治的には独立を達成したものの、経済的にはイギリスの強い影響下に置かれ、イギリスを中心とした（ ア ）のなかにラテンアメリカ諸国も位置づけられた。19世紀末には限られた種類の作物・原料の輸出に依存した経済発展が続いた。こうした経済体制を（ b ）経済と呼ぶ。独立後には多くの国で共和制が採用されたが、大地主や地方ボスなどの少数者による寡頭支配が続き、スペイン、（ c ）やイギリスなどのヨーロッパからの干渉も続いた。

1821年に独立したメキシコは、スペインから広大な領土を引き継いだが、1845年のアメリカ合衆国による（ d ）併合をめぐる⁽¹⁾アメリカ＝メキシコ戦争が勃発した。メキシコは、その敗戦により国土の約半分を失った。19世紀半ばになると、自由派と保守派との対立が激化し、保守派はオーストリア皇帝の弟（ e ）をメキシコ皇帝とした。これに対して先住民出身で土地改革を断行したファレスが自由派として保守派と戦い、この内戦に勝利した。ファレス死後、保守派の（ イ ）が長期独裁政治を行い、経済的には外資を積極的に導入した。しかし、外資導入などによって貧富の格差が拡大すると、（ ウ ）年に自由主義者の（ f ）による蜂起で革命が勃発し、翌年、独裁者は追放されて失脚した。この⁽²⁾メキシコ革命には、農民運動の指導者（ g ）らが参加し、農地改革を目指したが、改革は不徹底に終わった。

19世紀末にはアメリカ合衆国においてフロンティアが消滅し、海外進出の機運が高まった。共和党のマッキンリーが大統領であった1898年に、アメリカ合衆国はキューバ独立運動に乗じてアメリカ＝スペイン戦争（米西戦争）を起し、スペインからカリブ海において（ h ）を獲得した。セオドア＝ローズヴェルト大統領期には、中南米諸国に対する武力行使を伴う外交が行われた。こうした外交は（ 工 ）外交と呼ばれた。またアメリカ合衆国は、（ i ）のコロンビアからの独立を支援し、その後1914年にはカリブ海と太平洋を結ぶ運河を完成させた。

他方、ラテンアメリカ諸国の中では、アメリカ合衆国による政治的・経済的支配からの脱却や、貧富の格差の是正等の社会改革を求める労働者の声が高まっていた。ブラジルのヴァルガス政権やアルゼンチンの（ j ）政権は労働者保護政策を行い、イギリスやアメリカ等先進国に農産物や鉱産物を輸出する経済体制からの自立のために（ k ）をすすめた。また、キューバではアメリカの支援を受けた（ l ）独裁政権に対して、（ o ）やゲバラに指導された革命軍が独裁政権を打倒し、土地改革やアメリカ資本の国有化を実施した。1961年にアメリカ合衆国はキューバと断交し、キューバは（ m ）体制を選択し、ソ連に接近した。こうしたアメリカ合衆国とキューバの動きにより1962年にキューバ危機が起きた。⁽³⁾

設問1 文中の（ a ）～（ m ）に入る最も適切な語句を次の語群から一つずつ選び、番号をⅢ-Aに記入しなさい。同じ記号には同じ語句が入る。

【語群】

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. アシエンダ | 2. アジェンデ | 3. エンコミエンダ制 |
| 4. 革新主義 | 5. カリフォルニア | 6. ガルシア＝マルケス |
| 7. カルデナス | 8. 議会派 | 9. 君主制 |
| 10. 工業化 | 11. コスタリカ | 12. サパタ |
| 13. サン＝マルティン | 14. 資本主義 | 15. 社会主義 |
| 16. ジャマイカ | 17. 自由貿易 | 18. スターリン |
| 19. 中国 | 20. テキサス | 21. ニカラグア |
| 22. ハイチ | 23. バティスタ | 24. パナマ |
| 25. フィリピン | 26. プエルトリコ | 27. フェルナンド1世 |
| 28. 武断政治 | 29. フランス | 30. フロリダ |
| 31. ペロン | 32. 封建制 | 33. ボリバル |
| 34. マクシミリアン | 35. マデロ | 36. 民主化 |
| 37. モノカルチャー | 38. ヨーゼフ2世 | 39. 領主直営地 |
| 40. ロシア | | |

設問2 文中の（ア）～（オ）に関する以下の設問にふさわしい解答をⅢ-Bに書きなさい。

- (1) （ア）に入る19世紀中ごろにおけるイギリスを中心とした世界秩序を何と呼ぶかをⅢ-Bに書きなさい。
- (2) （イ）に入るメキシコの大統領名をⅢ-Bに書きなさい。
- (3) （ウ）に入るメキシコ革命が始まった年をⅢ-Bに書きなさい。
- (4) （エ）に入る当時のアメリカ合衆国の対中米・カリブ外交政策を表す言葉をⅢ-Bに書きなさい。
- (5) （オ）に入るキューバ革命の指導者の名前をⅢ-Bに書きなさい。

設問3 下線部(1)～(3)に関する以下の設問にふさわしい解答をⅢ-Cに書きなさい。

- (1) アメリカ＝メキシコ戦争の年代を選び番号をⅢ-Cに書きなさい。

1 1851-64年	2 1894-95年
3 1846-48年	4 1853-56年
- (2) メキシコ革命が勃発した直接的要因でないものを選び番号をⅢ-Cに書きなさい。
 - 1 独裁的政治に対して民主化を求める要求があった。
 - 2 独裁政治期、外国資本導入にもかかわらず、貧富の差が拡大した。
 - 3 土地改革を要求する農民運動が活発化した。
 - 4 フランスの干渉に対する反発があった。
- (3) キューバ危機ともっとも近い時期に起きた事象の組み合わせを選び番号をⅢ-Cに書きなさい。

1 aとc	2 bとd	3 bとc	4 aとd
-------	-------	-------	-------

 - a. ドイツでベルリンの壁が築かれた。
 - b. チリでアジェンデ政権が成立し、社会主義化を進めた。
 - c. アメリカ合衆国・カナダ・メキシコによる北米自由貿易協定（NAFTA）がつくられた。
 - d. ケネディ大統領は、南ベトナム解放民族戦線の結成に対抗して、南ベトナム支援を強化した。